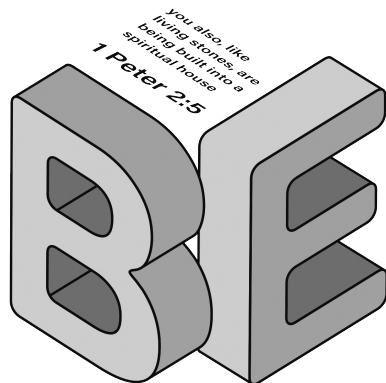


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。
ペテロの手紙第一 2章42節

2025/5/26(月)

ヘブル 11:17-31

●著者は、先祖達の行いを例に、「今日もし御声を聞くな、あなたがたの心を頑なにしてはならない (7-8)」と言われました。
→出エジプト後の先祖達の態度から、「主を試みること」「心を頑なにする」とはどういうことだと言えるかな？ (出エジプト 17:1-7)

✨信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。(ヘブル11:6)

→みことばを聞くことと同じ位、“聞く者の態度”も大切なんだね。皆の中に、すっかり諦めちゃってること、どうせ祈っても変わらないし…と思ってることってないかな？書き出してみたり、もし話せそうであれば家の教会の信頼できる友達に話してみよう！

2025/5/27(火)

ヘブル 11:32-40

●旧約聖書に出てくる信仰者たちはその信仰によってどんな勝利を得たのだろうか？また、彼らが得ることの出来なかったものはなんだろうか？

●38節「この世は彼らにふさわしくありませんでした」という言葉を思い巡らそう。君にとって、この世で生きることとはどんなことかな。聖書がこの世について語っていることを思い出してみよう。

●今君は何を愛しているだろうか。この世の何よりも、イエス様を愛して歩もう！そして天の故郷でイエス様とお会いするとき、最高の形でお会いできるように今の歩みを大切にしよう！

2025/5/28(水)

ヘブル 12:1-13

●スポーツの経験を通してゴールを見ることが大切さを教えられた経験はあるだろうか。そこに信仰の歩みと似ているところはあるだろうか。

●2-3節を読もう。落ち込んだり元気が出ないとき、自分のことばかりに目を向けているときってあるよね。イエス様に目を向けることの大切さを考えてみよう。

●この世で信仰によって歩もうとする時、私たちは罪のゆえに様々な試練を経験することになる。だけど、君の歩みのすべてを神様が知っていてくださっている。神様の子どもとして、成長させられていることを感謝しよう。イエス様を見続けよう！

2025/5/29(木)

ヘブル 12:14-29

●わたしたちに近づいているものはなんだったかな？18節

●モーセはどうして怖かったんだろう？21節

●この箇所は揺れ動かされない御国にがどうやってくるか書かれているね。古い旧約聖書の時代の礼拝は恐れをもっていたよ。モーセも神様の聖さやすごさに震えるほどだったんだ。だけどイエス様が犠牲になってからは恐れが喜びに変わったんだ。神様はもう一度天を含めて揺れ動かしたあとに揺れ動かされない御国がくるよ。神様との交わりに生きる祝福なんだ。私たちは神様に喜ばれる礼拝を捧げられてるかな？神様の祝福に感謝しつつ礼拝を捧げていこう！

2025/5/30(金)

ヘブル 13:1-6

●1-5vで下のワードについてどんなことが勧められているかな？

- ・旅人
- ・囚人
- ・虐げられている人 (いじめや差別も)
- ・結婚 (恋愛も)
- ・お金

●17vでは自分のリーダーに対してどんな態度が勧められているかな？それはなぜ？

●きみの家、学校、教会のリーダーは誰？きみができることを考えて、やってみよう！

2025/5/31(土)

ヘブル 13:7-25

ヘブル人への手紙の最後には、
・永遠に変わらないイエス様の恵みを覚えて賛美し続けること
・自分たちのために祈り教えてくれる人たちに従うこと
・祈り合うこと

が励まされているよ。イエス様のことを信じ続けたり、伝え続けたりすることが大変な時があるけど、みんなの祈りは聞かれているし、みんなのために祈ってくれている人もいる。それをイエス様が天のお父さんとの間に立って聞き届けてくださっているんだ。君が誰かに祈られて嬉しかったことってどんなことかな？思い出しながら、今日私たちも身近な誰かのために祈ろう！

2025/6/1(日)

I 列王記 1:1-14

ダビデ王の晩年、体力と気力が衰える中、王国には隙が生まれました。その機に乗じてアドニヤが王位を狙い、家臣たちは旧派と新派に分かれて争いが起きます。しかし、預言者ナタンがバテ・シェバに助言し、ダビデにソロモンを後継者として立てよう促しました。こうして神様は、混乱の中でも正しい道を備えてくださり、ソロモンが平和的に王となります。

祈り
恵みと平穩の時に、将来についても、よく祈り備えられますように。